資料４

公共交通に関する利用促進の取組について

公共交通を身近に感じてもらうことで将来の公共交通利用者の獲得につなげるため、田原市内で開催されるイベントへの出展や、事業者や公共施設等と連携して公共交通の利用促進に関するPRを行った。

１．サンテパルクたはらと連携した利用促進　※ぐるりんバス

期間①：3月15日（土）～4月6日（日）（チューリップフェア期間中）　74枚配布27個交換
期間②：4月26日（土）～5月18日（月・祝）（農業祭期間中）　102枚配布39個交換
期間③：7月19日（土）～8月31日（日）（サマーフェア期間中）83枚配布28個交換
期間④：11月1日（日）～11月30日（土）（サンテパルク収穫祭期間中）165枚配布84個交換

【内　　容】 期間中、田原市ぐるりんバスサンテパルク線に乗車し、サンテパルクで下車された方にサンテパルクたはらでぐるりんバスオリジナルグッズ（うちわ、缶バッチ）を配布。

【結　　果】　乗車証明書424枚を配布、グッズ178個の交換があった。
今年で4年目の実施ということもあり、常連のお客さんを中心に多くの方にバッジを交換していただいた。
　期間中に保育園や小学校の団体利用があったため、今後も目的地となる施設と連携した利用促進事業を継続的に実施し、子どもが公共交通を利用する機会を増やし、将来的な利用者増を目指す取組を続けていく必要がある。



オリジナルグッズ
（ビニール袋・うちわ・缶バッチ）

２．イベント出展による利用促進

（1）田原市 SDGs フェスタ2025

【開催日時】 令和7年7月27日（日）午前10時～午後2時
【会　　場】 田原文化会館
【出展内容】 公共交通利用促進ブースとして出展し、パネル展示によるPR、オリジナルペーパークラフトの配布・作成体験やオリジナル缶バッジ作成体験等を実施した。
【来場者数】 約120人（ブース来場者数）
うち　ぐるりんバスでの来場者数　17人


当日の様子

（2）田原市民まつり（はたらくクルマ、集まれ！！

【開催日時】 令和7年10月26日（日）午前10時～午後3時
【会　　場】 田原文化会館　第一駐車場
【出展内容】 はたらくクルマを一同に集め、車両との記念撮影やお気に入りの車の投票、パネル展示によるPRを行った。また、豊橋鉄道㈱、豊鉄バス㈱と連携して利用促進を実施。公共交通機関（渥美線、伊良湖本線・支線、ぐるりんバス）を利用して来場した方へオリジナルグッズのプレゼントを行った。
【展示車両】 白バイ、パトカー、消防車、ぐるりんバス（花号）
豊鉄バス車両（サイクルラック付）、トヨタMIRAI、
パッカー車
【来場者数】 約200人（ブース来場者数）


当日の様子

（3）サンテパルクたはら　収穫祭

【開催日時】 令和7年11月30日（日）午前10時～午後3時
【会　　場】 サンテパルクたはら
【出展内容】 公共交通利用促進ブースとして出展し、パネル展示によるPR、オリジナル缶バッジ作成体験、ぐるりんバスに関するアンケート等を実施した。
【来場者数】 約40人（ブース来場者数）

夏休み親子お楽しみイベント「目指せ！バス博士」の結果報告

1. イベント概要・目的

田原市内に住む小学生以下の子どもとその保護者を対象に、バスの洗車体験やバスとの綱引きなどを通じて楽しみながらバスに慣れ親しんでもらう。未来を担う子どもや保護者に公共交通を身近に感じてもらい、公共交通機関の利用文化を根付かせるきっかけとすることで、将来の公共交通利用者の獲得につなげる。

2. 開催日時・場所

令和７年８月２日（土）
渥美文化会館　多目的ホール、駐車場
豊鉄バス株式会社　渥美営業所

3. 参加人数

【定員】３０～３５名程度
【応募人数】１１組３８名（倍率約０．９倍）
【参加人数】１０組３４名


（バスの洗車機体験）



（点呼場の見学）


（バスとの綱引き対決）

4. イベントの反響について

参加者アンケート結果では、９割の方が「とても楽しかった」と回答。特にバスとの綱引き対決が高評価であった。

「路線バス（伊良湖本線・支線）をどの程度利用するか」との質問には、ほとんどが「ほとんど利用しない」という回答であった一方、「バスに関する関心は高まったか」との質問は７割以上が「大いに高まった」という回答。普段バスを利用しない方々にバスに慣れ親しんでもらう場とするという目的は達成されたといえる。

5. 今後の課題

昨年に引き続きの開催となったが、周知する時期が例年より遅く、募集締め切りまで期間が短かったため、応募者数は昨年の３分の１であった。

バスに慣れ親しんでもらい、多くの人が公共交通に興味を示してもらえるよう、今後も継続していきたい。

夏休み親子お楽しみイベント「目指せ！渥美線博士」の結果報告

1. イベント概要・目的

田原市内に住む小学生以下の子どもとその保護者を対象に、車両内での体験や車両区の見学などを通じて楽しみながら渥美線に慣れ親しんでもらう。未来を担う子どもや保護者に公共交通を身近に感じてもらい、公共交通機関の利用文化を根付かせるきっかけとすることで、将来の公共交通利用者の獲得につなげる。

2. 開催日時・場所

令和７年８月２３日（土）　豊橋鉄道渥美線　高師車庫

3. 参加人数

【定員】４０名程度
【応募人数】２７組８５名（倍率約２．０倍）
【参加人数】１４組４３名


（車両区の見学）


（車両の洗車体験）


（車内体験）

4. イベントの反響について

参加者アンケート結果では、参加者全員が「とても楽しかった」と回答。特に鉄道車庫の見学と車両洗車の見学が高評価であった。

「渥美線をどの程度利用するか」との質問には、４割弱が「ほとんど利用しない」と回答。「渥美線に関する関心は高まったか」という質問には７割以上が「大いに高まった」と回答。普段渥美線を利用しない方々に対して渥美線に慣れ親しんでもらう場とするという目的は、達成されたといえる。

5. 今後の課題

昨年に引き続きの開催となり、バスイベントと同様に周知する時期が例年より遅く、募集締め切りまで期間が短かったが、それでも定員数を超える方からの応募があった。今回は、高師駅に到着後、車両に乗ったまま車両区に入るという貴重な体験をしていただくことができた。渥美線に慣れ親しんでもらい、多くの人が公共交通に興味を示してもらえるよう、今後も継続していきたい。